

## 会 議 録

会議の名称	平成27年度 第2回環境審議会
開催日時	平成28年2月17日(水) 午後2時から午後3時まで
開催場所	エコプラザ西東京 講座室1
出席者	<p>【委員】勝村委員、伊藤委員、伊藤委員、加納委員、石崎委員、小野委員、川崎委員、渡邊委員</p> <p>【事務局】松川みどり環境部長、田中環境保全課長、安島みどり環境部主幹、本谷主事</p> <p>【傍聴人】0名</p>
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 平成27年度第1回審議会会議録(案)の確認について</p> <p>(2) 第2次環境基本計画における重点プロジェクト進捗状況報告について</p> <p>(3) 西東京市環境マネジメントシステム運用状況報告について</p> <p>(4) 平成26年度西東京市環境白書・環境活動レポートの報告について</p> <p>(5) 「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)後期計画」策定について</p> <p>(6) その他</p> <p>3 閉会</p>
会議資料の名称	<p>【事前資料】</p> <p>資料1 平成27年度第1回環境審議会会議録(案)</p> <p>資料2 平成26年度西東京市環境白書・環境活動レポート</p> <p>資料3 西東京市第2次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)後期計画(素案)</p> <p>【当日資料】</p> <p>資料1 自然環境観察情報員プロジェクト・エコライフ推進プロジェクト</p> <p>資料2 重点プロジェクト推進スケジュール</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

## 1 開会

## 2 議事

<議題：(1) 平成 27 年度第 1 回審議会会議録（案）の確認について>

- ・ 事務局より説明（資料 1 の説明）
- ・ 一同了承

<議題：(2) 第 2 次環境基本計画における重点プロジェクト進捗状況報告について>

- ・ 事務局より説明（資料 2 の説明）

### ○会長

- ・ 重点プロジェクト 1・3 と重点プロジェクト 2 の違いはどのような点であるか。

### ○事務局

- ・ 重点プロジェクト 1・3 は環境保全課で進捗管理を行い、重点プロジェクト 2 はごみ減量推進課で進捗管理を行っている。

### ○委員

- ・ 自然観察情報員は、市内の地区割や学区割等あるのか。

### ○事務局

- ・ 自然観察情報員の地区割は予定していない。環境フェスティバル等で居住地区に関わらず参加者を広く募集することを検討している。

### ○委員

- ・ 参加人数は決めていないのか。市報やホームページ等で募集することは考えているのか。

### ○事務局

- ・ 市報やホームページ等の活用も検討している。環境フェスティバルにて環境に関心のある市民にまず参加を呼び掛ける。

### ○委員

- ・ 5 月で募集した際に年間のテーマ等を決めたりもするのか。

### ○事務局

- ・ そうである。また、メール等でコメントや写真等の情報提供を受ける。

### ○会長

- ・ サクラの開花情報、観光情報として収集、提供している方法は最近よくみかける。データが蓄積されると環境の変化もわかってくるのではないか。

○委員

- ・ サクラに関して、お花見ができる場所がわかると良い。情報提供としての1本だけではなく、おすすめの場所などがわかると良い。

○事務局

- ・ みどり公園課でも少し紹介している。また、来年度から市の公園の一部が指定管理になることから専用のサイトが開設されるので、ご紹介することもできる。

○委員

- ・ 自然観察情報員システムが将来的に広域的な取組になると良い。

<議題：(3) 西東京市環境マネジメントシステム運用状況報告について>

- ・ 事務局より説明

○会長

- ・ 市内での環境マネジメントシステムの導入は増えているのか。

○事務局

- ・ 平成25年度から26年度にかけて増えたが、平成27年度は減った。

○会長

- ・ 企業が環境マネジメントシステムを運用するのは難しいのか。分析をしているのか。

○事務局

- ・ 中小事業者には、環境の専門部署がなく、費用的な面からも踏み込めないのが現状であると認識している。

○委員

- ・ 小さな会社で専門部署もなく、エコアクション21に関する書類の作成、報告書の作成は、通常業務の中でデータの集計、分析など人的な負担が大きい。

○会長

- ・ 日常業務の中にエコアクション21の取組が入れられると良い。

○委員

- ・ エコアクション21等取り組んでいる企業だと一目でわかるようなものはあるのか。

○委員

- ・ ホームページや名刺、看板等にエコアクション21のロゴを掲載している。しかし、それによって会社が選ばれているとはあまり思っていない。

○委員

- ・ そのようなロゴは消費者になかなか浸透していないように思う。ISO14001は目にする機会もある。

○委員

- ・ 環境マネジメントシステムの取得を参加資格にしている場合もある。
- ・ 環境にやさしい会社でありたいという理念から取得を継続している。

○委員

- ・ 出かけ先の情報を検索するとISO14001の取得情報も店舗によって掲載されている。そのようなお店には行ってみようと思う。また、実際に行ってみるとバリアフリーなど他の面にもやさしさがある。

○会長

- ・ エコアクション21の取組を今後もピーアールし、環境マネジメントシステムに関心を持ってもらえるようにしていただきたい。

○委員

- ・ 毎年一生懸命環境マネジメントシステムを運用している企業の紹介を市報等ではどうか。

○委員

- ・ 企業の取組を市民は知る機会が少ないので、努力している企業を知る機会になる。

<議題：(4) 平成26年度西東京市環境白書・環境活動レポートの報告について>

○事務局

- ・ 事務局より説明（資料2の説明）

○会長

- ・ P16表中の「基準年度」は、いつであるか。

○事務局

- ・ 平成21年度である。

○会長

- ・ 電気起源の温室効果ガス排出量の増加は、排出係数によるものであるが、都市ガス起源の温室効果ガスの増加の要因は何であるのか。

○事務局

- ・ 小・中学校の普通教室に空調が入ったこと、中学校の給食が始まったことなどがあり、ガスの使用量が増えた。
- ・ 今後、小・中学校の特別教室にも空調が入る予定もあり、増加の要因として考えられる。

○委員

- ・ P11環境学習事業とあるが、学校等でも実施されているのか。

○事務局

- ・ エコ・クッキングなど学校に講師を派遣して出前講座として実施している事業もある。
- ・ また、各学校で独自の環境学習も実施されている。

○委員

- ・ 学校どれくらいの頻度で実施されているのか。

○事務局

- ・ 学校では熱心に取り組んでいる。総合的な学習の一環で取り扱ったり、環境問題に関するグラフや表を題材として扱ったり、様々な教科で環境学習をしている。

○会長

- ・ 学校でも工夫して環境学習を実施しているということである。

<議題：(4) 西東京市環境マネジメントシステム運用状況報告について>

- ・ 事務局より説明（資料3の説明）

○委員

- ・ 目標について、簡単に達成できるのか。
- ・ 3%を5年間続ける考え方もあると思うが徐々に減らす理由はあるのか。
- ・ 年度によって省エネの取組や気候の影響などもあるので目標数値を5年後で設定する方法もあるのではないか。

○事務局

- ・ 職員一人一人の省エネは定着しているが、その取組だけでは、目標の達成は厳しい面もある。
- ・ 施設の設備の運用改善、運転効率等に取組改善図り、目標達成を目指す。
- ・ 省エネ法で年1%削減という規定があることから、徐々に減らすように設定している。

○委員

- ・ 市役所でも温室効果ガス削減に一生懸命取り組んでも、企業や家庭の方の意識はそこまで高くないと思う。
- ・ 家庭部門から二酸化炭素を出している現状についてどのように対応するのか。

○事務局

- ・ 民生家庭部門の排出割合は大きい。
- ・ 企業の設備更新、省エネ機器や低燃費車両の導入等を家庭においても取組が必要である。
- ・ 国や都の施策でもあるので、情報提供を行う。

○委員

- ・ 民間企業は設備投資できない分、エコな商品を販売するとポイントになる等の特典が

あるが、行政の場合もあるのか。

○事務局

- ・ そのような特典は行政にはない。計画を策定し、計画が効果的に運用されるように施策をする。

○委員

- ・ 行政の場合は、市民啓発をするとポイントになる等の利点があっても良いと思う。

○会長

- ・ インセンティブがあれば環境マネジメントシステムも普及されるだろう。

○事務局

- ・ 環境マネジメントシステムは、達成感が見えにくい部分もあるので、環境のモチベーションを継続する必要がある。
- ・ できるところから始められるように啓発していきたい。

○会長

- ・ P2 温室効果ガス排出量とエネルギー消費量のグラフについて、平成21年度と平成22年度の消費量がほぼ同じであるのに対し、排出量が激増しているのはなぜか。

○事務局

- ・ グラフについて精査する。

○会長

- ・ 平成24年度と平成25年度は減っていないようであるが、市で使うエネルギーは何に使っているのか。
- ・ 多く使っている部分を減らすような取組が可能ではないか。

○事務局

- ・ 電気である。
- ・ 市では、一部の施設でPPSからの購入をしている。
- ・ 温室効果ガスの排出係数が少ないので、今後も電力を選びながら省エネに努める。

○会長

- ・ 電力の自由化については、民間企業としてどのようにお考えであるのか。

○委員

- ・ 切り替えるのはなかなか難しい。

○委員

- ・ 切り替えるのはなかなか難しい。

○委員

- ・ 市でエネルギーを作り出すことはしているのか。

○事務局

- ・ 公共施設に太陽光発電システムを設置して、太陽光エネルギーを施設の電力として利用している。

○委員

- ・ 環境問題は、一人一人の意識が大事であると思う。
- ・ 市報で情報を得ることもあるが、目に留まらないこともあるので、紙面を工夫してほしい。

○会長

- ・ エコアクション 21 も含めて環境部門の宣伝にもなるので、工夫したお知らせができると良い。

<議題：(5)その他>

○事務局

- ・ 本日で今期の審議会は最後の予定である。
- ・ これまで本市の環境施策に多大なご協力を賜ったこと、感謝申し上げます。

○会長

- ・ お一人ずつ最後に一言いただきたい。

○委員

- ・ 審議会委員を務めて、実態を知ることができた。
- ・ 今後も環境に関することを広めていけたら良い。

○委員

- ・ 環境とは大きな問題であると感じる。
- ・ 自分で一つ一つできることが環境に繋がれば良いと思う。

○委員

- ・ 環境白書等を見ることがなかったので、一生懸命取り組んでいることが分かった。
- ・ 下野谷遺跡や田無神社など文化的なものも含めて良いところになって欲しい。

○委員

- ・ 環境の改善は市民の意識に関係すると思う。
- ・ 市の取組ではあるが、市民にどう意識付けするか、改善するかが重要であると思う。

○委員

- ・ 市の取組がわかった。企業の環境の取組も進めたい。
- ・ 併せて企業の環境担当者として環境事故の防止に努める。
- ・ 削減目標に関しても市と協力して取り組む。

○委員

- エコアクション21に取り組んでいることもあり、環境を意識する機会はある。
- 環境は、ごみ分別、リサイクルなど西東京市では、取組が進んでいるので、市民として誇れることである。
- チーム24が受賞されていたが、そのような取組ともリンクさせることができると良い。

○副会長

- 東京都の環境部署で勤務していたので環境に関する持論はあるが、委員の皆さんの意見に敬服する。

○会長

- 気象庁に勤務していたので、地球温暖化に関しては、様々な意見した。
- 第2次環境基本計画の策定にも関わり、その後の進捗を拝見した。派手ではないものの着々と進められていると認識する。

3 閉会

○会長

- 本日の環境審議会は以上で終了する。

以上